

の過中に飛込んで大いに奔走することを禁じただけであります、それから選友同志會といふ従業員の組合があります、只今御話しになつた様であります、これは労働總同盟の一部に屬して居ると云ふ話を承て居ります、之に對しましては私共は全く不干渉主義を執つてゐるのであります、單に不干渉主義ばかりでなく事務の取扱其の他へ付きましては色々御相談も受けてゐるのであります、幹部の方々は昨年懇談致しまして従業員の待遇改善等に付きました、大分御説を採用し緊縮の折柄ではあります、昨年従業員の待遇改善に百七十萬圓ばかり費用を實行豫算の上に認め

青年部報告

青年部は組織運動に友誼組合争議應援に宣傳に比較的活動範圍を限定されてる選友青年部ではあるが、各専門部を接けて前線の活動をなし、青年部独自の使命を盡した

事業部報告

事業部は今年度第一回執行委員會に於て、「選信下級従業員の大消費組合完成への一歩として」本部門を新設し各支部相互間の既設事業部の連絡指導、事業部開設獎勵を目的として活動した
今年度八月廿日現在の所屬支部事業部及び消費組合状況は別表の如くである
(イ)信用事業を行ふ支部
Ⅰ東工下谷浅草支部、亀戸支部、麻布支部、東工神田支部、千住支部、巢鴨支部

(ロ)購買事業を行ふ支部
Ⅰ巢鴨支部、Ⅱ下谷支部、Ⅲ赤坂支部、Ⅳ淀橋支部、Ⅴ寺島支部、Ⅵ品川支部、Ⅶ麴町支部、Ⅷ都西陣支部、Ⅷ名古屋中央支部、Ⅸ浅草支部、Ⅹ牛込支部、Ⅺ世田谷支部、Ⅻ麻布支部、Ⅼ東工下谷浅草支部、(○)印は賣店經營

(ハ)關係消費組合一覽表

名 稱	所 在 地	創 立	代 長 者	組合員數	出資口數	拂込済出資金	平均ヶ月売上	關係支部
品川購買組合	品川町南品川一五	昭和四年十月廿日	小俣泰太郎	二一〇	三〇三	一、八〇〇,〇〇〇	一、二〇〇,〇〇〇	選友同志會、品川支部
民衆消費組合	下谷區七軒町七	七年七月	津田宇三郎	四八	五五	八七,七五	一五〇,〇〇〇	同、下谷支部
神田選友消費組合	神田區湯島町五、六	四年五月	小野塚直隆	四	四五	四五,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	同、神田支部

註 巢鴨選友購買組合は豊島消費組合に合併

共済部報告

共済部の確立は信用事業、消費組合事業と共に労働組合として重要な事業であるが、部内共済組合の行ふ共済事業以外に平等の立場に起つて組合員の吉凶禍福に際し、慶弔の意を表し、並に救済等を目的として來た、四年八月及び九月工務課勤務の組合員のマンホール内墮死者、電撃死に至つた各犠牲者に當時直ちに吊慰金の募集をなし總計壹百圓廿三錢の應募を得て十二月それを遺族に贈呈した、左に共済事業を行ふ支部を列記すれば

巢鴨支部、牛込支部、下谷支部、神田支部、赤坂支部、淀橋支部、品川支部、中野支部、世田谷支部、龜戸支部、千住支部、浅草支部、寺島支部、麴町支部、京都中央支部、名古屋中央支部、貯金局經理課支部、東工浪花茶場支部、東工下谷浅草支部

等で、當該局内共助組合等に依り此の事業をなすもの五支部である
共済部基金の積立は品川支部の最高貳百圓巢鴨支部百拾圓九拾八錢、神田支部七拾圓等で概して小額ではあるが成績は良